

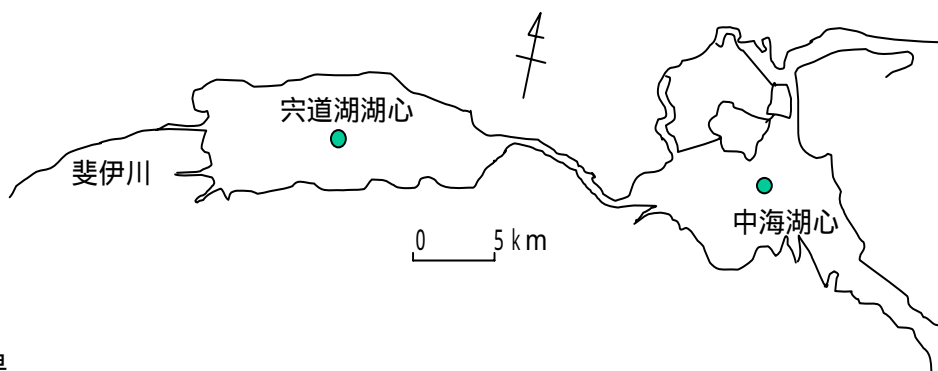
輝水だより（第73号）

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係(電話:0852-22-5562)

平成16年1月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

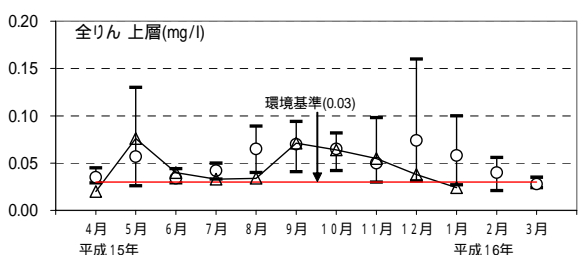
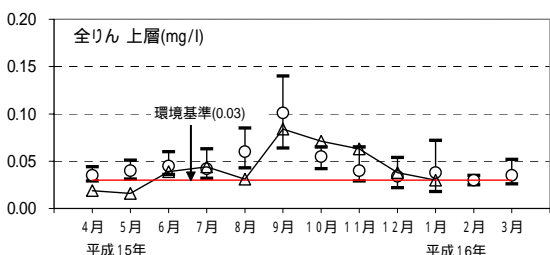
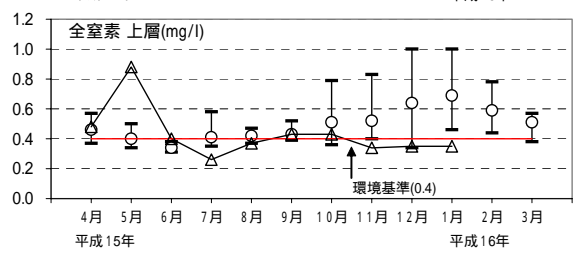
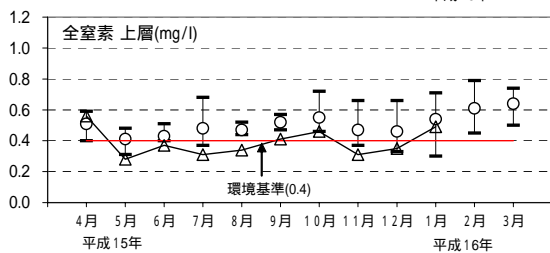
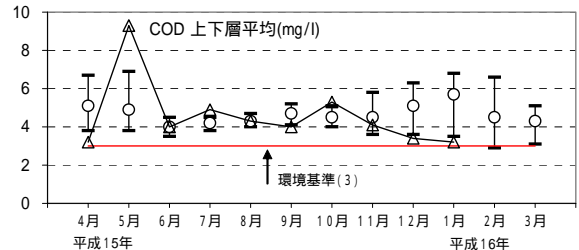
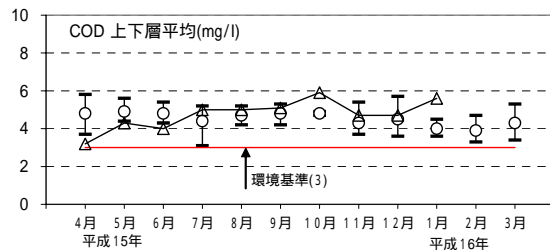
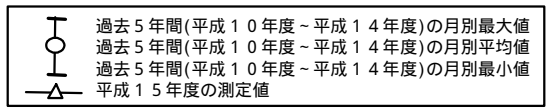


2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成10年度～14年度)の同月と比べると、COD(化学的酸素要求量)は最も高く、全窒素及び全りんは平均値より低い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD、全窒素及び全りんのすべてが最も低い濃度でした。
- (3) 1月上旬頃、宍道湖北岸でヘテロカプサという植物プランクトン(毒性のない種類)による赤潮が見られました。

項目	単位	環境基準 (湖沼A 類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成14年度平均	
			11月	12月	1月	11月	12月	1月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)		-	16.8	12.0	6.4	18.1	13.1	7.4	-	-
pH(上層)	-	6.5～8.5	8.1	8.2	8.7	8.2	8.2	8.5	-	-
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.7	4.7	5.6	4.1	3.4	3.2	4.7	4.4
SS(上層)	mg/l	5以下	2	3	5	2	3	3	5	5
DO(上層)	mg/l	7.5以上	欠測	10.1	13.1	欠測	10.0	13.4	10	9.3
DO(下層)	mg/l	7.5以上	欠測	10	12.8	欠測	3.4	4.4	8.2	4.5
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.31	0.35	0.49	0.34	0.35	0.35	0.52	0.45
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.063	0.038	0.030	0.055	0.038	0.024	0.042	0.036
Cl(上層)	mg/l	-	1600	2000	1200	11000	9800	6000	2800	9300
Cl(下層)	mg/l	-	1600	2100	1500	12000	13000	16000	3100	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	-	7.1	15	31	4.0	11	8.6	14	10

*平成14年度公共用水域水質測定結果による。



矢道湖湖心における各水質の月変動

中海湖湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 化学的酸素要求量の略称です。湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は約 19000mg/l です。